

海外派遣留学プログラム「帰国報告書」

記入日	2023/12/27
所属学部・研究科・学府	工学部
所属学科・専攻	機械工学コース
留学時の学年	学部2年

1. 留学先について

留学先大学名	イリノイ大学シカゴ校									
留学先所属学部等	College of Engineering									
留学期間	出発日	2023/8/16	入学日	2023/8/21	修了日	2023/12/9	帰国日	2023/12/10		
住居	<input checked="" type="checkbox"/> 大学(紹介)の寮・アパート			民間アパート					その他 ()	
	住居の決め方	大学の寮のうち、半期のみ契約を行っているものが一か所のみだったので、その寮にしました。								
	通学時間	15分(寮があるキャンパスと講義を受けるキャンパスが異なっていました。)					<input checked="" type="checkbox"/>	On campus		
	通学方法	バス								
	居室スペース <small>✓を入れてください</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 個室	() 人部屋		その他 ()					
共有スペース <small>✓を入れてください</small>	完全個室	<input checked="" type="checkbox"/>	キッチン	<input checked="" type="checkbox"/>	トイレ	<input checked="" type="checkbox"/>	バス	<input checked="" type="checkbox"/>	リビング	その他()
食事	自炊	70 %	学食	0 %	外食	25 %	その他	5 % (毎週火曜日はある人の家で夕食をふるまってもらいました)		
保険	海外旅行保険 (名称・加入プラン名)	千葉大学トータルサポートプログラム								
	留学先国・大学指定保険 (名称・加入内容)	なし						加入必須		
	その他加入保険	なし								
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)									
	羽田 ⇄ デトロイト(飛行機) ⇄ シカゴ(飛行機)									

2. 留学資金の内訳

自費	<input checked="" type="checkbox"/>	貯金	100,000 円	アルバイト	円	その他	円
援助	<input checked="" type="checkbox"/>	親	1,200,000 円	家族・親戚	150,000 円	その他	円
奨学金	<input checked="" type="checkbox"/>	JASSO	320,000 円	その他名称 ()			円
その他		()					円

3. 留学にかかった費用

総費用	約	1,300,000 円
-----	---	-------------

3-1. 留学にかかった費用：内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			332,720	円
JTBトータルサポートプログラム (海外旅行保険・危機管理サービス)			59,660	円
その他の保険料			0	円
査証・在留許可証			21,600	円
住居	ドル	4,652.5	700,000	円
光熱費			0(寮費に含まれる)	円
通信費 (Wi-Fi、SIMカードなど)			0	円
食費	ドル	1,000	150,000	円
通学に要する交通費			0	円
教科書、教材費			0	円
その他大学に支払った経費	ドル	163	25,000	円
その他 (お土産)	ドル	200	30,000	円
その他 (交際費)			約100000	円
その他 ()				円

3-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	全額クレジットカードで支払いました
住居にかかった費用	全額クレジットカードで支払いました
その他	日本からもドルを持ち合わせていたので、現金とクレジットカードを併用していました。

3-3. お金の管理方法

渡航時	現金	700	ドル	その他 ()	円
留学中	海外送金	キャッシング	その他 (持参したドルまたはデビットカードで支払いをしていました。)		
現地での口座開設	開設した	用意した書類や 気を付けること等	()	✓	開設しなかった

4. 学業面

4-1. 履修科目一覧

履修科目名	種類 ex.正規/聴講	単位数	単位互換		
1 Fundamental of Music Theory	正規	3		有	無
2 Strength of Materials	正規	3		有	無
3 Mechanical Vibration	正規	3		有	無
4 Intemediate Thermodynamics	正規	3		有	無
5				有	無
6				有	無
7				有	無

4-2. 授業科目の選択, 登録方法

myuicというサイトを通して、履修登録します。秋学期の登録期間は、開始時期は定かではありませんが、前学期で既に登録している学生が多く、10月までは履修登録が行えました。私はアメリカに到着してから履修登録を行いました。

4-3. 授業内容, 方法に関して

Strength of Materialsは千葉大学の材料力学Ⅰ・Ⅱに相当する科目で、剛体にかかる力とそれに伴う剛体の変形の計算方法を学習します。2章ごとにある小テストと学期終わりに予定される最終試験で成績が決定されます。

Intermediate Thermodynamicsは千葉大学の熱力学Ⅰ・Ⅱに相当する科目で、主に気体を巨視的に観察した時に導かれる物理法則について学習します。課題の提出、2回の中間テスト、最終テストで成績が決まります。

Mechanical Vibrationsは講義から察するに千葉大学の機械振動学に相当するものだと思います。この講義では、物体の振動を解析する方法を学習します。この授業はいわゆる講義とかなり形態が異なっています。まず授業が始まる前に講義動画を視聴してVLR(Video Lecture Reflection)といわれるノートを作成し提出します。そして授業中では講義動画にまつわるICP(In-Class Practice)という課題をこなし提出します。またすべての講義を通して計4回のProjectが設けられることになっています。Projectとはより実践的な課題であり、現在のところ自身で物体を用意し、その物体の振動をProjectごとに指定された観点からソフトウェアで解析した後、それについて説明した動画を限定公開でYouTubeに投稿するという形態をとっています。この授業にテストは設けられておらず、提出物で成績が決定されます。

Fundamentals of Music Theoryは音楽理論の基礎を学習します。成績は宿題、中間テスト、最終テストで決定されます。

4-4. 語学力について

渡航前に提出した資格はTOEFLで、点数は90点でした。到着後すぐは英語を聞き取ることと話すことがままならなくて、会話にかなり苦勞して落ち込むこともありました。自宅での英語学習と、積極的に人と関わることを心がけて、2か月後くらいに多少、リスニング能力の向上を感じました。3カ月くらいたつと、聞き返すことや間違っても英語を話すことに躊躇がなくなり、ある意味で英会話への自信はついたと思います。留学全体を終えて、渡航前よりは確実に英語力は向上したと感じています。ただ、不自由なく英語をしゃべれるかというはまだそれほどではないです。

4-5. 図書館など学内施設について

メインキャンパスはEast Campusで、私の受講していた講義はすべてここで開講されていましたし、基本的に本キャンパスで学生生活を送っていました。East Campusの図書館はいつも混雑していたので、ほぼ使用することはなかったです。また、East Campusと私の寮があったWest Campusにはジムがあり、UICの学生は無料で使用することができます。

5. 生活面 *気づいたこと, 心掛けたことなどをご記入ください。

5-1. 住居について

私の住んでいた寮はSingle Student Residence(SSR)という寮で、West Campus内にありました。寮の中で唯一、半期のみの契約が可能です。一つの大部屋の中に2人または3人のそれぞれに部屋が割り当てられていて、キッチンやトイレ、シャワーなどが共用となっています。設備のわりに寮費は高めです。

5-2. 食生活について

基本的に寮のキッチンで昼食はサンドウィッチ、夕食は簡単なパスタを作っていました。East Campusの近くにTargetというスーパーがあって、そこで買い物をしていました。比較的安いスーパーなのでおすすめです。私の所属していたInternational City Groupという団体の活動の一環で、毎週火曜日は、メンバーの一人が夕食をふるまってくれました。時々友人と外食することもありました。

5-3. インターネット環境, 携帯電話について

学生はキャンパス内のWiFiを使用することができます。またソフトバンクのアメリカ放題というサービスを利用していたので、WiFiの有無は問題なくスマホを使用できました。

5-4. 服装について

シカゴは北海道と同じ気候だと聞いていたので、ヒートテックやダウンなど寒さ対策用の服装は準備して行きました。8月の終わりぐらいから、半袖だと少し肌寒かったです。私の滞在した年は気温が例年より高かったのですが、それでも秋から12月にかけてはダウンを着ていても少し寒いという感じでした。1月・2月が寒さのピークだそうです。

5-5. 健康管理について

到着して間もないころは、体がまだ気候に慣れていないと思い、マスクをつけて寝るようにしていました。市販の薬を何種類か持参し、具合が悪い時に用途に応じて使用していました。また、シカゴは大麻が合法で、たまに寮内でも大麻の匂いがあることがあったので、そのときはマスクをつけたり、場所を移動するなどして対処していました。

5-6. 保険, 危機管理サービスの利用について *利用実績等をご記入ください。

千葉大学トータルサポートプログラムに加入していましたが、使用することはなかったです。

5-7. 課外活動について

ソーラン節クラブに加入し、毎週火曜日の昼にほかのメンバーと練習していました。日本人の友達を作ろうとして入ったのですが、日本人は僕だけでした。

5-8. 学外のコミュニティとの交流について

International City Groupという団体に所属し、このグループが主催する活動に多く参加しましたし、留学でできた友達の多くは、このグループを通してできました。キリスト教の団体なので、キリスト教についても多く学ぶことができました。

5-9. 日本から持参してよかったもの

- ・レンジで調理するご飯
- ・調味料
- ・水筒(大学関連の施設のところどころに給水機があり、その水をいれていました。)
- ・サンダル
- ・現金(ドル)

5-10. 日本から持参したが不要だったもの

ふりかけ

5-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い, マナーなど)

日本と比べてルールに対して従順すぎない分、行動の柔軟性が高いという印象を受けました。例えば、私はベッドのシーツやブランケットを日本から持って行くのを忘れて、(SSRに滞在する際は必要です。)しばらくの間、バスタオルで寝ていました。ある日寮のスタッフに自分の状況を説明すると、実際は寮生にそういったものを貸し出しするサービスはないのにもかかわらず、シーツ、ブランケット、枕カバーを貸し出してくれたということがありました。

5-12. 余暇の過ごし方

旅行

Fall Gateway 期間: 2023年10月13日~10月15日 (2泊3日) 費用: 48ドル 内容: International City Groupに所属するメンバーとウィスコンシン州でキャンプ

その他

外に出たり、持ってきたギターを弾いたりして気分転換していました。

6. その他

6-1. 留学希望者へのアドバイス

皆さんの興味や挑戦する意志を尊敬します。そして、それを自分自身で大切にしてほしいです!

6-2. 留学を終えて

進級の都合上、他の派遣留学生より短い期間でしか計画できず、かつ留年のリスクもほかの学生より高くなるので、留学に行く前は辞退しようかと迷ったこともありましたが、しかし、留学後は本当に行ってよかったと思っています。様々なことを経験した本当に密度の濃い4カ月で、もう一つの人生を送っているような感覚でした。間違いなく今後の自分の人生を変えたと感じます。留学を終えた今、とりあえず3年生に進級することが直近の目標です。また、以前から興味を持っていた海外大学院への進学への興味も今回の留学を通してより強まったので、院へ進学するまでの残りの2年間(Hopefully)、進学計画を立てつつ、勉強にとどまらず、多くのことを経験していきたいです。